

施設 FACILITIES



学校見学
しよう!



QRコードから
アクセス!



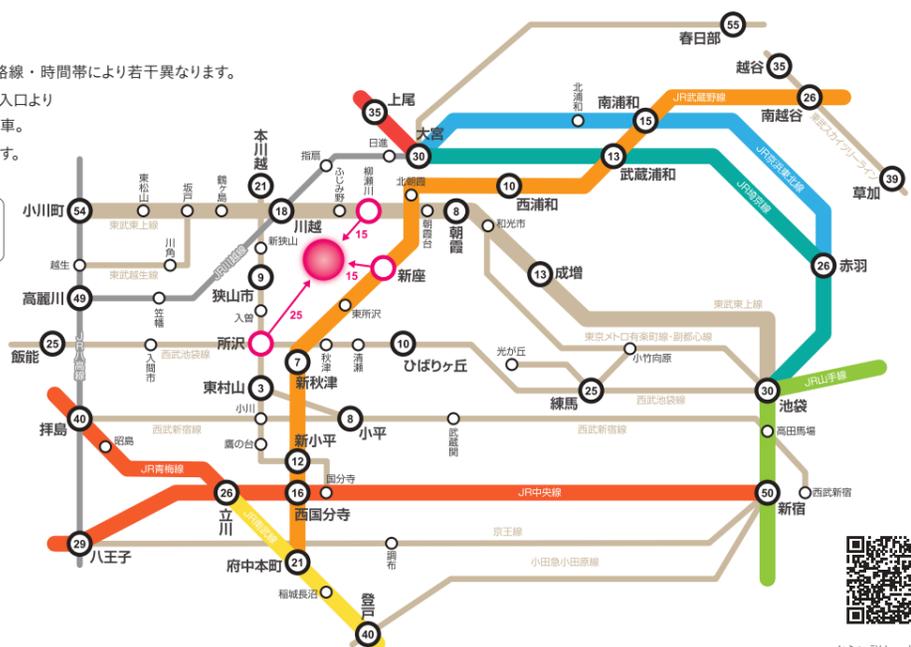
震災や非常災害時の対策

建物は、耐震補強工事が完了しており安全が確保されています。2011年の東日本大震災での経験をもとに、帰宅困難の際に、校舎内で待機できるよう準備もしています。また、地震や火災などの災害を想定した避難訓練を年2回実施しています。緊急時には保護者へ連絡するための緊急メール発信体制も整っています。

アクセス ACCESS

- 乗換一回につき5分を加算して計算していますが、路線・時間帯により若干異なります。
- 路線バスご利用の場合は、志木駅南口・新座駅北入口より跡見女子大行または、所沢駅東口行バス「中野」下車。
- 徒歩で学校までは、柳瀬川駅・新座駅から25分です。

- スクールバス停の最寄駅まで(電車所要時間)
- スクールバス停から学校まで(バス所要時間)
- 学校所在地



さらに詳しい情報は
ホームページで

EVENTS 2025

オンライン学校説明会 4/26(土)	〈第1回〉 学校説明会 5/17(土)	〈第2回〉 学校説明会 6/21(土)	〈第1回〉 オープンスクール 7/19(土)	〈第2回〉 オープンスクール 8/23(土)	武陽祭(文化祭) 9/6(土)・7(日)
〈第3回〉 学校説明会 9/20(土)	〈第4回〉 学校説明会 10/11(土)	〈第5回〉 学校説明会 11/1(土)	入試模擬体験会 11/24(月)	入試直前情報説明会 12/13(土)	

- 今後の社会情勢により日時などに変更が出る場合は本校ホームページにてお知らせいたします。
 - 学校説明動画を本校ホームページ内の「西武台TV」というyoutubeチャンネルにアップしていきます。
- 本校ホームページへのアクセスは、下記 URL を入力または「西武台新座中学校」で検索、または QRコードを読み込んでください。

<https://www.seibudai.ed.jp/junior/>

西武台新座中学校 検索



Act on the GLOBE



Act on the GLOBE

—地球サイズのたくましい人間力の育成—

西武台新座中学校が開校して今年で14年目となります。この13年の間にも社会は目まぐるしく変化をしています。AIの発展によるChatGPTの出現や現実とはほぼ変わらないような写真や映像の作成ができるようになるなど、変化の激しい社会を生きていくようになります。また、グローバル化も進んでおり、「読み書きの英語力」だけでなく、「コミュニケーションをするための英語力」が必要になってきています。そんな変化の激しい社会を生き抜いていくためには、今まで求められてきた知識・技能だけでなく、様々な経験や研究などを通して課題解決能力を養う必要があります。

自ら課題を見つけ、それを探究し、解決をしていくサイクルを循環させていく教育の中で、『地球サイズのたくましい人間力』を育成したいと考えています。

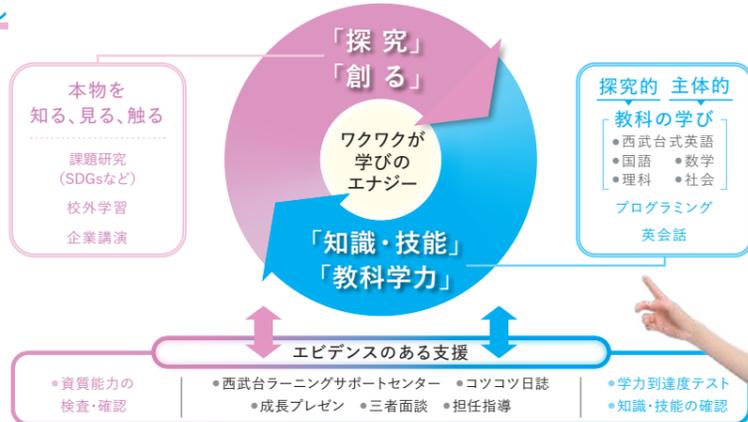
6年間一貫教育

3つのSTEP

中高6年間で「中1・中2の基礎期」「中3・高1の発展期」「高2・高3の飛躍期」と段階的に3つのステージに分け、各学年の学習到達度や習熟度を考慮した指導を丁寧に実施していきます。



学びのサイクル



学びの楽しさをエネルギーに。確かな学力と未来を拓くチカラを

令和7年4月から西武台新座中学校 校長に就任いたしました佐賀博です。よろしくお願いいたします。
価値観の多様化やグローバル化の進展、急速な技術革新などが進み、予測困難で変化の激しい時代が訪れています。現代社会を生きるためには、単に与えられた課題を解決するだけでなく、自ら課題を見出し解決する力が求められることは言うまでもありません。本校では「教科学力」「知識・技能」と「探究」「創る」のカリキュラムを循環させて学ぶことで、確かな学力と問題解決能力を身に付けることを目指しています。中高一貫の6年間は主体的に学ぶことの楽しさを実感できる日々であります。希望する大学に合格する学力はもちろん、その先の未来を切り拓くチカラを身に付けてほしいと思います。

本校では開校当初から学力教育に加え、西武台式英語、アクティブラーニングやICT機器を有効活用した授業、人間教育などを取り入れ、生徒が主体性をもって学べる教育環境を整えています。グローバル化への対応としては、オーストラリアの学校と姉妹校の関係を持ち、親善を深めることで英語や人間教育に活かしています。また、文部科学省で進める教育改革・大学入試改革に向けて、英語検定対策やプログラミング教室も実施。さらに学習発表の場としてスタディフェスタも開催しています。
『Act on the GLOBE』グローバル化が進む社会において、日本人としてのアイデンティティを大切にしながら世界で活躍できる人間力を磨いてください。

西武台新座中学校 佐賀博



さらに詳しい情報は
ホームページで



特進選抜コース A組

国公立・難関私大合格を目標とするコース

手厚い学習サポート!



基礎・応用・発展的内容について、高度な演習を取り入れながら、内容の深化を求める学習をしていきます。ベネッセ模試対策の演習や事後演習も多く実施しています。部活動と両立し、高いレベルで文武両道を目指す人も多です。また、高2の段階で文系・理系に分かれ、さらに国公立を目標にするクラスと難関私大を目標にするコースに細分化されます。国公立を目標にするコースは3年次も7時間授業を開講し、最後まで手厚く進路実現をサポートしていきます。



放課後講習も多種多様!

高校次の放課後には、大学受験を見据えた放課後講習も多く開講しています。一人ひとりの学習状況や学力を基に放課後講習を紹介することもあります。2024年度には、本コース卒業生から埼玉大学をはじめとした国公立大学や、早慶上理、GMARCHなどの難関私大に多数の合格者ができました。



Student Voices | 生徒の声

楽しい雰囲気の中で、真面目に授業に取り組むことができています。学級委員会と生徒会を中心に、学年集会を開いてプレゼンテーションを実施することもあります。



Student Voices | 生徒の声

長期休暇の前に、テストの結果を振り返って苦手な科目を克服したいと思いました。そこで、先生にサポートをお願いし、課題をもらって取り組みました。



Student Voices | 生徒の声

毎日スタディサブリの課題を3つ終わらせられるようにクラスで取り組んでいます。みんなで競い合いながら課題に取り組むことがとても楽しいです。



Student Voices | 生徒の声

男女の壁があまりなく、クラスで楽しみながら接していただけます。思いっきり楽しむときもあれば、冷静に課題に取り組むメリハリがしっかりついています。お互いに課題を教え合うこともあって日々勉強になります。



さらに詳しい開設コースの情報はホームページで

特進コース B組

文武両道を意識し、基礎学力の定着を徹底的に行うコース

個性にあったサポート!



基礎内容の定着を徹底的に行い、応用・発展的内容へ結びつける学習をしていきます。数学や英語などの一部の授業では習熟度別授業も展開しているため、特進選抜コースの授業を受ける生徒もいます。高2の段階で文系・理系に分かれていきます。一般入試だけでなく、総合型選抜入試対策も実施しており、小論文対策の授業も開講されています。また、部活動やボランティアなどの課外活動にも力をいれて取り組めるカリキュラムが高校生で組まれており、個に応じた指導を行います。



総合型選抜の対策もばっちり!

小論文対策だけではなく、実際の試験で実施される面接やプレゼンテーションの添削も手厚くサポートしています。先生との距離が近いので、徹底的に進路実現の力を身に付けさせます。2024年度には、本コース卒業生から東洋大学・駒澤大学・東京電機大学などの合格を勝ち取りました。



スクールライフ School Life

西武台生の1日

広く、そして深く学ぶことを大切にしたい西武台の学校生活。クラスメイトと一緒に考えて議論して解決する授業。おいしくて楽しい給食。親切で丁寧な人間教育や進路指導の時間。仲間と心地よい汗を流すクラブ活動。学んで、笑って、ともに成長する毎日がここにはあります。

～8:20
登校



8:30
Sタイム

S (Seibudai) タイムという名称で20分の朝学習(英語・数学)を週5日実施しています。予習、復習、小テストなどを行うことで、通常授業で学んだ内容のさらなる定着を図ります。



8:55～12:45
午前授業



> 英語教育 P7



> 学力教育 P8

12:45～13:30
昼食



> 学校行事 P10

13:30～15:20
午後授業

> クラブ活動 P11



18:30 (最終)
下校



Lunch time 給食

生徒にも、保護者の方にも好評！おいしくて栄養バランスを考えた給食。

お昼はカフェテリアで給食を楽しみます。

月曜日から金曜日の昼食時間は、生徒も先生もみんなでカフェテリアに集まって給食を楽しみます。育ち盛りの生徒のことを考えて量も十分、栄養バランスもきちんと管理したメニューです。女子生徒の声に応じてプチデザートの提供も行っていきます。

> 進路目標 P13

西武台ラーニングサポートセンター (SLC)

放課後1日2時間の自学自習を目標に設置された学習の場です。いつでもコーチが生徒の質問に対応してくれるほか、定期テストに向けた計画表の作成などの学習サポートをします。



第2グラウンド



こぶし館



さらに詳しい情報はホームページで

どの季節もおしゃれ！

POINTもチェック！

Uniform

西武台生の制服

3 Season



トラディショナルなデザインも人気です

POINT

カワイリリボンが人気！



POINT

セーラーのラインがお花の刺繍になっていてとてもおしゃれ

Spring & Autumn



中間服は季節の変わり目のお役立ちアイテム！

POINT

小さめのリボンが涼しげでカワイイ！

Summer



Option

合皮の黒の鞆で、チャックの部分が金色で高級感があります。また中にもポケットがあるので便利です。



ラインが入っていてスポーティー。



ダブルコートがあっただかいしカッコいい。



AラインのPコートで、着るとシルエットが綺麗に見えます。

AR制服試着体験もできます！



さらに詳しい情報はホームページで

英語教育

SEIBUDAI English Method

さらに詳しい情報はホームページで



「英語は日本人にとってひどく難しい外国語です。どこが、どのように難しいのかという前提から出発し、その壁を乗り越える方法を体験してもらおうが「西武台式英語」です。また、「読めるけど話せない」という声も耳にします。西武台新座中学校の英語教育は発音を大事にした教育活動を実施しています。西武台新座中学校の英語教育を通して「読む・書く・聞く」力だけでなく「話す」力も身に付けていきます。

中学 1 発音・発声をメインにした基礎期の授業

中1の基礎期には、朝の20分でのSタイム(SEIBUDAI TIME)で週3日、英語の発音・発声のトレーニングをします。口や唇の形や舌の動き、息の出し方やその強弱、その息に声を乗せる方法、歯の使い方などをわかりやすく、丁寧に説明することで、英語の発音に慣れさせていきます。



中学 2 イングリッシュ・グローバルキャンプ

中2になると、毎年6月に福島県にある「プリティッシュ・ヒルズ」にて移動教室が実施されます。「プリティッシュ・ヒルズ」は、中世時代の英国をイメージした語学研修施設で、中1で身に付けた英語力を活用して、過ごしていきます。2泊3日の生活は、オールイングリッシュで行われており、話すだけでなく、聞く力も磨きをかけていきます。



中学 3 オーストラリアへの語学研修

中3では、西武台新座中学校で培った英語力を基に、オーストラリアへ語学研修に行きます。現地の生活はホームステイで過ごします。短い期間の中でも過ごす現地の方と必死にコミュニケーションをとり、相手の話を必死に理解し、自分の考えを必死で伝えるように頑張ります。言葉や異文化の壁を自分自身の力で乗り越えた成功体験は、最高の思い出と大きな財産になります。



ザ ジングルスの実施



中1では週1回、「THE JINGLES」という授業を行っています。これは、外部のプロ講師を招いて、英語発音の矯正を実施し、英会話に磨きをかけていきます。オールイングリッシュで実施されているため、生徒は一生懸命Sタイムの時間で学習した発音をして学習をしています。

ベルリッツ英会話(高校生対象)

特系コースの希望者には、週1回、ベルリッツ英会話を実施されています。ベルリッツ英会話は、外部の講師を招いて、英会話の学習を行う時間です。社会で通用する英語力を身に付けるための力を高校でもさらに養成していきます。

オーストラリア異文化体験プログラム(高校生対象)

毎年、夏期休業中に2週間の日程で、希望者を対象にオーストラリアで行われます。ホームステイをしながら現地高校に通い、午前中はネイティブの先生による授業、午後は現地高校のエスコート役の生徒とともに授業に参加します。英語の勉強はもちろん、感性豊かな10代でしか体験できない海外の異文化に触れることを目的としています。初めからたやすく意思の疎通ができるわけではありません。もがきながら相互の考えや文化を理解しようとするこそ、何よりの研修になるはずです。



Teacher's Message | 教員メッセージ

口や唇の形や舌の動き、息の出し方やその強弱、その息に声を乗せる方法、歯の使い方などをわかりやすく、丁寧に説明することで英語の発音に必要な形状記憶を実施しています。子供たちも恥ずかしがらずにしっかりと発音をしてきています。

Student Voices | 生徒の声

習熟度別にクラス分けを実施していて、実際に言葉の意味をペアになって考えて答えを出したり、英語を使ってゲームを実施していたりして楽しい授業がたくさんあります。

学力教育

Academic Education

さらに詳しい情報はホームページで



国語

Japanese

国語はすべての思考力の原点です

友だちと話をするとき、勉強をするとき、本を読むとき、そして物事を考えるとき。私たちはいつも日本語を使っています。国語はすべての基礎であり、あらゆる教科の学力向上につながる教科です。これからの時代、様々な国籍の人と触れ合う機会が多くなります。国語の学力を十分に蓄えておけば、他の言語や考え方を理解する力が培われるだけでなく、主体的に自分の考えを構築し、表現する力が養われます。日常における思考力に幅や深み生まれ、心を成長させる国語教育に主眼を置いています。



Teacher's Message | 教員メッセージ

中高生の6年間は、人生の中でも非常に多感な時期です。その時期にたくさんの文学作品に触れることで、日常生活だけでは想像できない、様々な現実の捉え方や価値観を知ることができます。国語の授業で他者の思考を丁寧に学ぶことで、自分自身の個性を相対的に発見することができます。6年間で出会う様々な文学作品を通して感性を磨き、新しい「自分」をたくさん見つけていきましょう。

数学

Mathematics

数学を通して論理的思考力を育む

本校の数学科で最も重視しているのは、与えられた情報や起きている現象から、あることがらを論理的に説明する力です。将来、「ある情報から何かの仮説を立て、検証し、最善策を考える」という場面はたくさんあるはずですが、その中でいかに根拠が明確であり、論理の飛躍がないように筋道立てて考えることができるか、という論理的思考力こそが数学を学ぶことによって身に付けることができる力だと考えています。



Teacher's Message | 教員メッセージ

本校には数学を肯定的に感じている生徒が約90%います。このうれしい声に応えるためにも、さらに学力を向上させたいと思っています。解法を文章で書いて答えを導く、記述式の問題でも、教え合いをいかにした授業と課題で対策することができます。まだ数学が苦手だと思う人がいれば、ぜひ質問に来てください。一緒に成績を伸ばし「好き」、「得意」な教科にしましょう。

理科

Science

小さな疑問が高い学力を生み出す

「なぜ雨が降るのだろうか」「なぜ息ができるのだろうか」。私たちは自然界に生きていながら、その成り立ちや法則を知らないことが多いものです。本校では、身近な現象をきっかけに理科の面白さを伝える魅力的な授業を行っています。日頃から小さなことに疑問を持つ生徒を高く評価し、自分で考察する楽しさを重視することで、生徒たちの探究心を刺激します。また、理科はトライ&エラーを最も体感できる教科でもあり、授業を通して得られる経験や思考方法は、やがて高度な学力を生み出す土台となります。



Teacher's Message | 教員メッセージ

理科は事物現象に興味を持つことや身近なものに置き換えることが重要なので、テーマ選びや説明の仕方を中学生向けに工夫しています。また、こちらからの発問を多くすることで、生徒には「考える」という作業に慣れてもらうように心がけています。正しいかどうかではなく、自分の意見を持つことが科学的思考力の出発点です。

社会

Social studies

広い世界で、生きる術を見出す

社会科の本質は、世の中を広く理解し、生き抜く術を身に付けること。そして、学習を通じて日本人のアイデンティティを見つけ出すことといえます。ひとりの人間として社会を創造する力を育て上げるためには、憲法や地形、風土、歴史など、日本という国をたくさんの角度から学ぶ必要があります。それは同時に多様な価値観が共存する世界全体を知ることにもつながります。グローバル社会の一員として活躍するこれからの世代にとって、社会科は自己形成のための重要な教科のひとつです。



Teacher's Message | 教員メッセージ

先日、生徒から「歴史の授業で習った史跡を訪れました」という話を聞きました。興味を持った場所へ足を運ぶことは学習意欲の賜物であり、家族で社会科について会話をしていることをうれしく感じました。社会科の家庭学習は、家族と一緒に取り組むという利点があります。泉のように湧き出る好奇心を支えることで、学力の向上に必ず結びつくはずですが。

Student Voices | 生徒の声

とにかくプリントがすぐわかりやすく、教科書に載っていないところまで沢山の知識を身に付けられます。

Student Voices | 生徒の声

とても楽しく、自分の考えを自信を持って言えるような授業です。わからなかったら、すぐにわからないですって聞ける雰囲気の良い授業です。



ワクワク感を 呼び覚ます学び

ロジックとレトリックを
身に付けます

論理的に考えたりすることが重要です。話や文章に筋道を立てる「ロジック」は、円滑なコミュニケーションを取るために必要とされています。本校では、生徒が自ら課題を解決することを通して「ロジック」を身に付けます。しかし、せっかく良い解決法が見つかったとしても人に伝えることができなければ世の中が良くなりません。また、「レトリック」とは、相手に自分たちの提案を上手に伝える手法が身に付くようにプレゼンテーション力をいつも意識した取り組みがなされています。

【スタディフェスタ】

探究活動とOUT PUT

自然科学・社会科学を通して課題設定—情報収集—調査—実験—検証—課題解決のサイクルを身に付けます。最終的には社会課題を自らの力で発見・解決の手法を身に付けます。ウェルビーイングな社会を目指す生徒を育成する取り組みがこのスタディフェスタです。全生徒が主体となってワクワクを感じながら積極的に取り組んでいます。3学期には保護者の前で全チームがプレゼンテーションをしています。



【プログラミング教室】

プログラミングとは何かを学ぶところから始めます。毎回、専門講師から直接学んでいます。スクラッチ(ブロックを積み上げる言語)を使用してゲームの制作からプログラミングのアルゴリズムを学びます。楽しく、試行錯誤と論理的思考が身に付くと好評です。年間約9時間で、3年間27時間程度学び、高校課程での情報I(大学共通テストに関係)へ学びがシームレスにつながります。



【校外学習】

教室を飛び出し、いま世の中で何が起きているのか。本物を見る、触れる、五感を刺激して知見を広げます。そして課題を見つけ、それを「自分ごと」にする。そこから自分たちで何かできないだろうかと思いを深めます。同時にまだ見えていない将来の目標へ生徒の思考へつなげます。



学校行事 Events

温かく頼れる先生方、同じ時間を一緒に過ごす大切な仲間たち。
たくさんの体験と豊かな教育内容を備えた本校で、
実りある6年間を過してください。

オリエンテーション合宿

「オリエンテーション合宿」は入学直後に行う2泊3日の合宿です。挨拶や5分前行動など社会で生きていく上での基本的な生活習慣を整えます。また、飯盒炊飯や集団行動、HR活動などを通して学年やクラスのメンバーとの絆を深めます。この合宿を通して、生徒は西武台新座中学校の生徒としての自覚を持つことができます。



体育祭

中高合同で実施される体育祭は西武台高校第2グラウンドで実施されます。定番のリレーや綱引きだけでなく、全クラス対抗で実施している大縄跳びもあります。中学生が高校生に勝利する場面も見られます。とても白熱する行事です。



武陽祭

「人間力」は教室の中だけでは伸びません。仲間と議論し、協力して出し物を作り上げていく武陽祭を通して、一人ひとりが大事な役割を担い、助け合うことを学び、社会のリーダーとして必要な力を養っていきます。



ミュージックフェスタ(Mフェス)

クラスだけでなく、学年で団結して取り組む行事です。全学年共通の課題曲と各学年の自由曲の2曲を披露します。学年で団結する力を身に付けることで集団行動の力を身に付けると同時に、芸術への関心も高めます。これとは別に年に1度、芸術鑑賞教室が実施されています。



さらに詳しい情報は
ホームページで



さらに詳しい情報は
ホームページで



CLUB ACTIVITIES

クラブ活動

「教えてもらう」から「自分で考えて行動する」へ。部活動は体力や技能の向上を目指すとともに、生徒が自主性を身に付ける学びの場でもあります。



さらに詳しい情報はホームページで

サッカー部

- 令和6年度朝霞地区中学校総合体育大会 優勝
- 令和6年度全国中学校サッカー大会 第3位
- 令和6年度埼玉県学校総合体育大会 優勝
- 令和6年度関東中学校サッカー大会 第3位
- 高円宮杯関東大会 出場決定

チアダンス部

- 全国中学校ダンスドリル大会 ソロ部門 第1位

新体操部

- 令和6年度関東中学校新体操大会 出場

陸上部

- 令和6年度埼玉県大会 男子砲丸投げ 女子円盤投げ 出場
- JOCジュニアオリンピックカップ 第55回U16陸上競技大会 埼玉県選考会U16女子ジャベリックスロー 第1位

男子硬式テニス部

女子硬式テニス部

吹奏楽部

茶道部

合唱部

電子部

ラグビー部



工藤 迅矢さん
Tokiya Kudo
埼玉大学

石蔵 結士さん
Yuito Ishikura
立教大学

中川 瑠菜さん
Runa Nakagawa
法政大学

細山 菜奈さん
Kanna Hosoyama
上智大学

北脇 凜音さん
Rion Kitawaki
青山学院大学

西武台で学べてよかったことは？

中川 A組とB組あわせても32人。少人数クラスなので、みんな仲が良く勉強も行事も一緒に楽しめました。大縄跳びの大会では一致団結して3学年で1位になったこともあります。



石蔵 確かにクラスの絆は強かったね。とはいえ、勉強面ではライバル。定期試験や模試が終わると、クラスメイトと点数を見せ合って切磋琢磨していました。

工藤 先生との距離が近いという点も少人数クラスの良いところでした。先生方は一人ひとりのことを理解してくれ、学力や苦手科目に合わせた個別の勉強法をアドバイスしてくれます。模試の解き直しと添削の繰り返しで僕は苦手な英語を克服できました。



北脇 チアダンス部に入りたくて、この中学に入りました。中1・中3で全国大会優勝も果たしています。全力で部活動に取り組んだので、隙間時間の有効活用が私の勉強法のポイント。少しでも毎日机に向かいました。コツコツ積み重ねることが大切なのは部活の練習も勉強も同じです。

細山 私が大学で英文学科を専攻するきっかけとなったのは、中学の授業で英語を話す楽しさを学べたからです。模型を使った舌の動かし方で発音と発生を学ぶ仲丸先生の授業や外部の講師からネイティブの発音を学ぶ「ザ・ジャングルズ」など、スピーキング力が身に付く授業がたくさんありました。



石蔵 西武台には1年生からグループワークやプレゼンテーションを学ぶ総合の授業があります。初めはiPadに不慣れでプレゼン準備に手間取りましたが、回を重ねるごとに自分なりの手法や話し方が固まり、人前で発表することが苦にならなくなりました。保護者に学校のプレゼンテーションをしたり、SDGsについての発表もしました。

北脇 SDGsは「海の豊かさを守る」がテーマだったね。海洋汚染の原因のひとつにプラスチックゴミが多いことを調べて、エコバッグを作ったのは楽しかったです。グループごとに何回使ったかをまとめたのも勉強になりました。

将来の夢や社会で果たしたい役割は？

工藤 大学は情報工学部に進むので、AIを活用した技術に興味があります。昨年は米不足が話題になりましたが、地球温暖化や後継者不足で、日本の農業は危機的状況です。情報工学と農業を連携して、人の負担が減っても高品質な野菜作れたら社会に貢献できますね。



中川 第一志望は食品や化粧品の開発チームですが、SDGsの観点から都市開発をする会社にも興味があります。生物を学ぶなかで温暖化を防ぐには森林レベルの樹木がないとCO₂を吸収できないとわかりました。森林に囲まれたマンション建設とか面白そうです。

石蔵 父が経営する会社をゆくゆくは継ぐつもりです。まずは企業に就職して経験を積み、資格を取得します。父の仕事を見ていると、人のつながりの大切さがわかります。大学や社会人生活の中で人との関係を築きながら、お世話になった地元の街に恩返ししたいです。



細山 大学では英文学を専攻するので、英語を活用できる仕事に就きたいです。同時に、日本史も好きなので日本文化を紹介する仕事にもかかわりたいと思います。インバウンドの観光客も増えているのでツアー関係の仕事も選択肢のひとつですね。

北脇 私は文理融合の学部に進むので、さまざまな分野の学問を学んだあとに、自分のやりたいことが何かを見極めたいと思います。まずは大学で勉強を頑張ります。

さらに詳しい情報はホームページで



進路目標

中学から高校、そして大学への進学期は、大きな学びを得られる貴重な期間です。生徒たちの夢の実現に向けた「一人ひとりを大事にする教育」のために、万全の体制で進路指導を行っています。中学校では、自己実現をしていくために、自分の将来に対する目的意識を持つ力を養うことを進路目標としています。



成長プレゼンテーション

本校では、毎年三者面談(生徒・保護者・教員)が実施されていますが、本校の三者面談では生徒が主役となります。生徒は保護者と教員に対して自分の課題や達成したことを軸に将来の目標や希望する進路についてプレゼンテーションを実施します。本校ではこれを「成長プレゼンテーション」と定義しており、自分ごととして自己実現に向けて必要なことを話し合います。



職業調べ・西武台アカデミア

テスト返却後の時間などを一部活用して、外部の企業と連携をして講演会を実施しています。どんな仕事をしているのか、どのような目的でこの仕事をしているのかなどを実際に話をしながら職業に触れていきます。また、大学でどのようなことを学んできたかといったような話もしてくれます。



和文教養普及協会様をお招きして、特別講習を実施

進路実績 (高校特系コース)

中高6年間、夢を実現する力を養った結果、第一志望に多くの生徒が合格していきました。第一志望に合格していくために西武台新座中学校では手厚いサポートを実施しています。夢を実現する力を身に付けて生徒は卒業していきます。

■2024年度高校特系コースの実績

区分	大学	人数
国公立	埼玉大学	2名
	早慶上理	7名
私立	GMARCH	21名
	成成明学独國武	11名
	日東駒専	11名
	四工大	17名

サポート1 統括主任面談・日直面談

特系コースでは、一人ひとりの夢や課題を具体的にサポートしていけるように通常の面談に加えて特統括主任による統括主任面談や、日直の生徒と放課後に面談を実施する日直面談を実施しています。普段の何気ない会話だけでなく、進路の話をしっかり聞き、夢を実現していくための計画を一緒に考えていきます。



サポート2 幅広い放課後講習の実施

特系コースでは、放課後にも任意の放課後講習を実施しています。例えば、英語の文法問題を強化するための講習だったり、数学の入試問題対策講習だったりたくさん開講されています。生徒の自己実現を叶えるための力を講習を通して身に付けさせていきます。



ベネッセ

学期に1回、ベネッセ模試を実施しています。ベネッセ模試は全国の中学校および一部の公立学校が実施しており、自分の学力がどのレベルにあるのか、自分の自己実現に向けて必要なものは何なのかということを知る指針となっています。ベネッセ模試の振り返りの活動も行っています。



SLC

「SEIBUDAI Learning Center」の略で、生徒会館の2Fにある学習スペースです。学びコーチングと連携して、チューターの人も常駐しており、勉強のサポートをしてくれます。また、個人勉強ブースだけでなく、グループ活動をする空間もあります。



スタサブ

スタサブ(スタディ・サブリ)は、生徒の自主学習用のアプリの1つで、全科目の学習内容に対応しています。日々の授業の予習から復習、さらには上級学年の先取りなどができるため、積極的に活用している生徒が多くいます。また、年に2回到達度確認テストが実施されており、学習状況の把握にも役立てられています。



OB & OG's Voice

卒業生の声



細山 菜奈さん

私たち8期生は「もっと上位を目指そう」「苦手克服」「全国制覇」「英語強化」などの目標を掲げたグループ活動で、先生方に学習サポートをしてもらえました。私は数学と理科が苦手だったので、苦手克服グループに所属。最初に模試や定期テストの成績で私の苦手とする部分を把握してもらい、個別で学習計画を作成してもらいました。その後、マンツーマンの面談で、苦手を克服するための勉強法を指導してもらえました。

プレゼンテーションをする機会が多いのが西武台の良いところです。中学時代から人前で何度も発表する経験を積めたことは大きな収穫でした。3者面談では、自分の進学したい大学を両親にプレゼンテーションしたことがあります。このときは様々な大学の情報をウェブサイトで見たり、先生方に教えていただいたりしました。情報収集しているうちに、自分は理系の学部に進みたいことが明確になっていきました。



北脇 凜音さん

数学で先生がたくさん問題を解くことで計算が身に付く「計算マラソン」という教え方をしてくれたお陰で苦手の数学を克服できました。西武台の先生方の工夫を凝らした授業は学んでいて楽しかったです。また、テスト期間の放課後は、教室に残って勉強しました。分からないことがあったとき、すぐに職員室まで質問に行けるからです。質問に行くと、理解するまで、丁寧に教えていただけたのはありがたかったです。



工藤 迅矢さん

